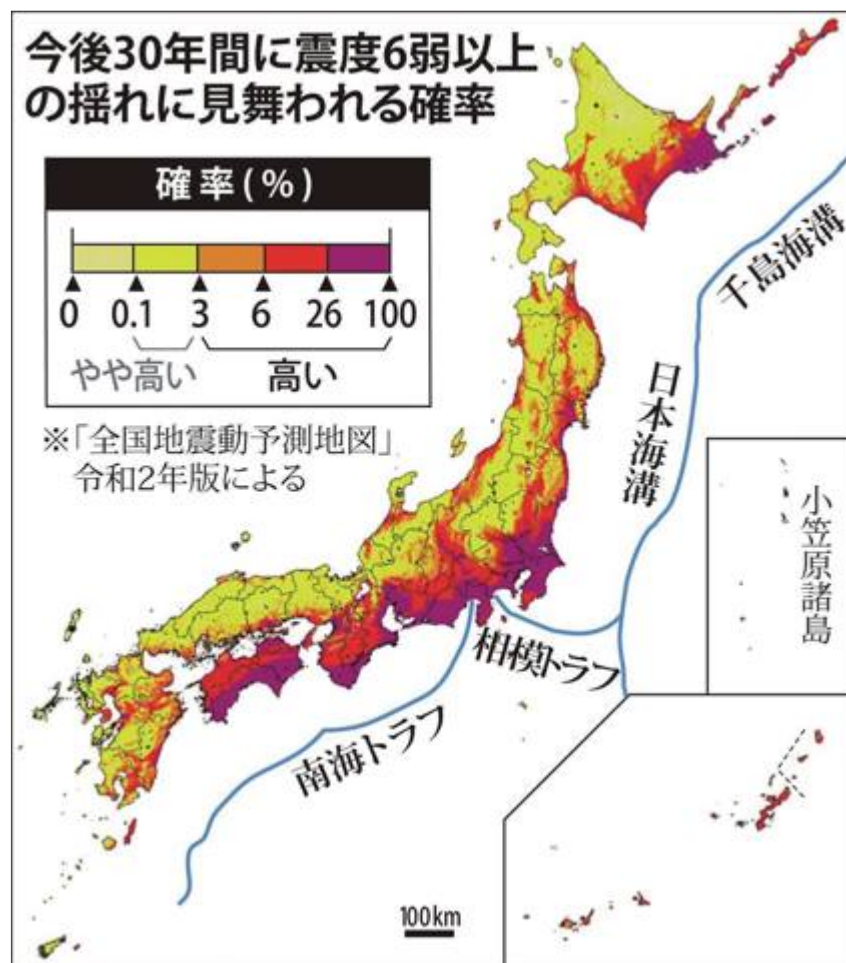




地震予知を考える

—能登半島地震を経験して—



近年、地震予知の悲観論が蔓延しています。これまでの地震観測結果で、予知できそうな場合がなかったのか、地震後に検討しても短期予知のシナリオが描けなかったのだろうか。さらに、もし地震の短期予知の可能性があった場合、地震警告に役立ててきたのだろうか。

本講座では、このような問題を正面からとりあげて解説します。

「2020年から30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」を示した地震動予測地図

「全国地震動予測地図 2020年版」より

日時 / 2024年9月28日（土曜日）、13:30-15:30（13:15開場予定）

会場 / かでる2・7 730研修室

北海道立道民活動センター（札幌市中央区北2条西7丁目）

講師 / 高波 鐵夫（北海道総合地質学研究センター理事、シニア研究員）

東京大学地震研究所外来研究員、ワシントン・カーネギー研究所外来研究員

参加費 / 1,000円（大学生・高校生、会員は半額）参加定員 / 50名（先着順で受付）

申込期限 / 2024年9月26日まで（参加人数に余裕があれば前日まで受け付けます）

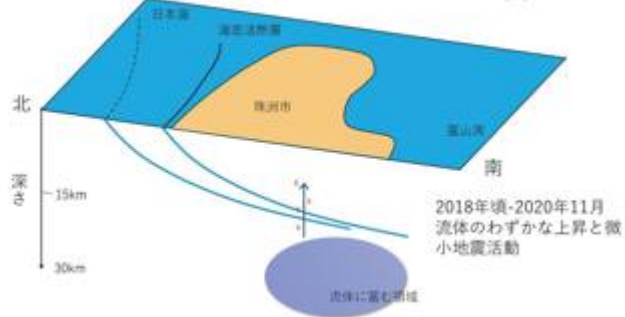
参加申込・問合せ先 / E-mail: office@hrcg.jp Tel: 080-5830-2016

主催 / 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター

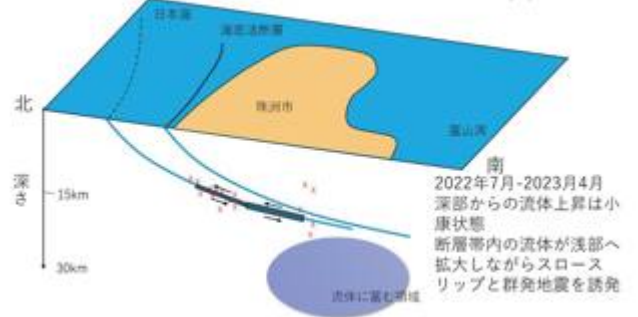
URL <https://www.hrcg.jp>

（申込まれた方の個人情報は当センターのプライバシーポリシーに従い、適正に管理いたします）

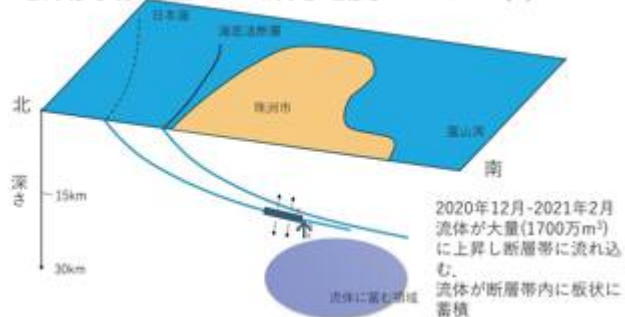
地殻変動に基づく群発地震シナリオ(1)



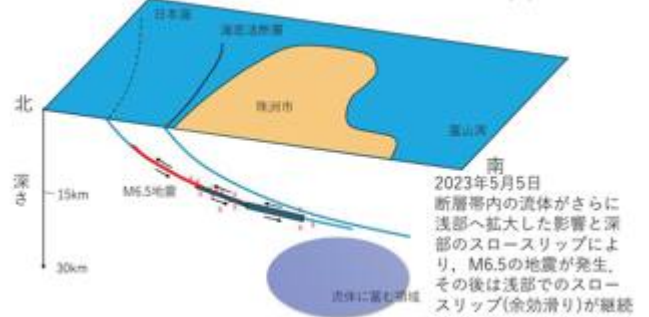
地殻変動に基づく群発地震シナリオ(4)



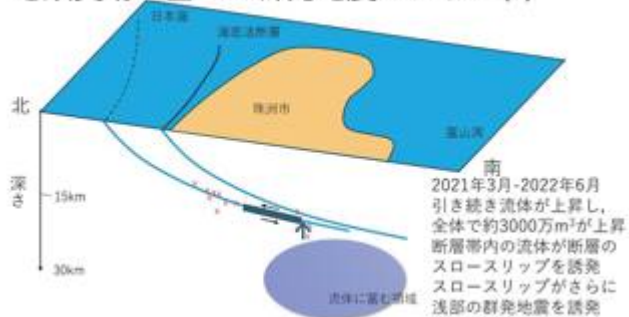
地殻変動に基づく群発地震シナリオ(2)



地殻変動に基づく群発地震シナリオ(5)



地殻変動に基づく群発地震シナリオ(3)



地殻変動に基づく群発地震シナリオ(6)

